

長崎県

長崎県立佐世保西高等学校

佐藤孝士 先生



高3

5 STEP アクティブ・リーディング

英語が苦手な生徒にも音読中心の授業が速読や直読直解に効果的

本校設定科目の選択授業（週3時間、文系の60～80名が選択）で、従来の説明中心授業からの脱却を図り、4技能向上と学習到達度がさまざまな生徒でも力が付けられる授業を目指し、音読習慣化に定評のある本教材を導入しました。

活用方法としては、STEP 1で、本文中で使用されている単語の定着を図ります。チャッツやペアワークを使って、英語を苦手とする生徒でも楽しく取り組めるようにしています。STEP 2では、本文聴解を行います。注目すべき表現について、ヒントを与えながら4～5回聞くことで、無理なく内容を把握できるようにします。STEP 3で内容確認を行い、STEP 4で20回音読に入ります。この教材で解説されている音読法に加え、ペア音読やRead & Look upを行うなど、「空読み」にならないように気を付けています。STEP 5の日本語要約は担当教員が採点し、Reproductionまで行うようにしています。

英語が苦手な生徒でも、この方法で単語や文章を耳と口を使って段階的に覚え、定着を図ることで、英語が読める、聞き取れる、という実感を得られているようです。次は、英文を再生する活動から、自身のスピーキング力向上につなげてもらいたいと思っています。どのレッスンも話題が大変興味深く、生徒の話したいという欲求を引き出すのに適した教材で、今後は発信型の活動に活用していきたいと考えています。

① 採用した理由

4技能向上を目指して、
段階的に学習内容の
定着を図る



① テスト実施方法

○頻度

年2～3回の定期考査

○1回の範囲、問題数

8UNIT、1レッスン

○問題の種類

空所補充、部分訳・一文訳、単語戻し、
基本的な読解問題、英語での要約

○テスト作成CD

使用していない



2014年9月現在